

日産車体株式会社

2025年度 決算説明

(2026年3月期)



2026年 5月

決算サマリー

当社グループを取り巻く環境は、米国を中心とした通商問題による世界経済を通じた間接的な影響に加え、第4四半期に起きた中東情勢の影響に注視する必要があった。

このような環境において、主に前連結会計年度に生産を開始した「新型パトロール」、「新型アルマーダ」等の売上台数の増加や、生産効率の向上等により増収・増益となった。特別損益では、当社湘南工場のサービス部品生産への事業転換に伴い、当社固定資産の減損損失26億円及び当社グループ全体で約800人の対象者を前提に合理的に見積った人事施策にかかる費用として事業構造改革引当金繰入額21億円等を特別損失に計上した。

売上台数

前連結会計年度に生産を開始した「新型パトロール」及び「新型アルマーダ」の増加等により、前年同期と比べ、5.6%増加の154,668台

売上高

台数増加の影響等により、15.2%増加の4,038億円

営業利益

台数増加の影響に加え、生産効率が向上したこと等により前連結会計年度と比べ175.1%増加の141億円

経常利益

前連結会計年度と比べ157.9%増加の150億円

親会社株主に帰属
する当期純利益

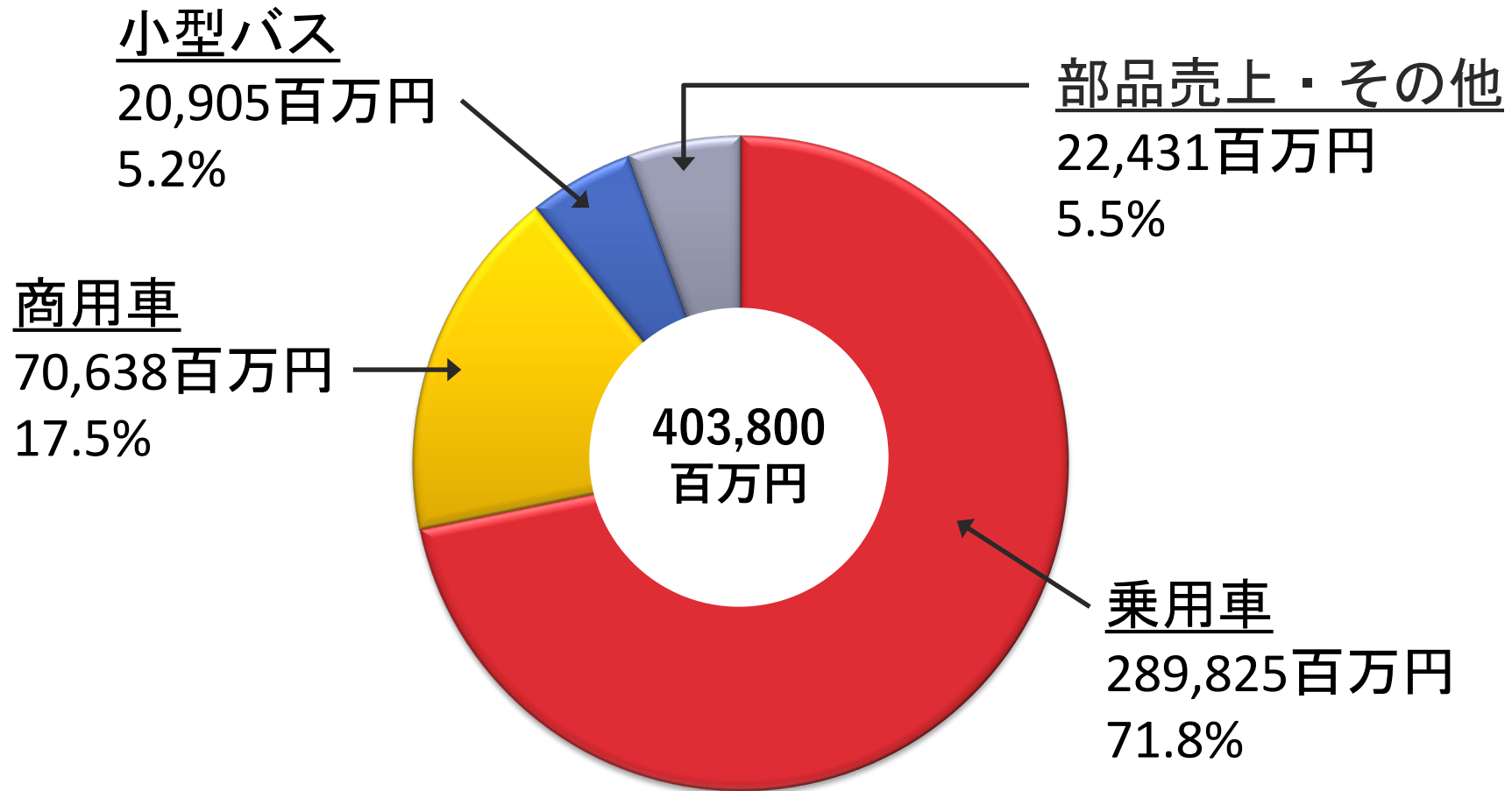
前連結会計年度と比べ127.3%増加の68億円

業績ハイライト

単位:百万円

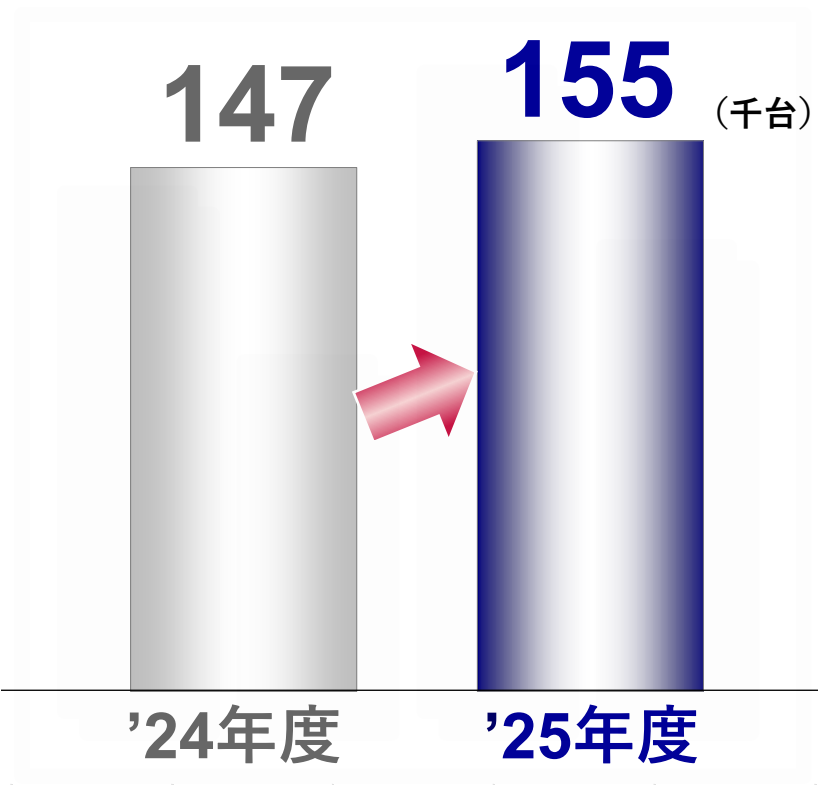
	2024年度 (2025/3)	2025年度 (2026/3)	増減額(率)		2026年度 計画
売上高	350,508	403,800	53,292	15.2%	448,000
営業利益	5,147	14,161	9,014	175.1%	21,000
経常利益	5,847	15,080	9,233	157.9%	21,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,033	6,893	3,860	127.3%	14,000

製品別売上高構成比



売上台数

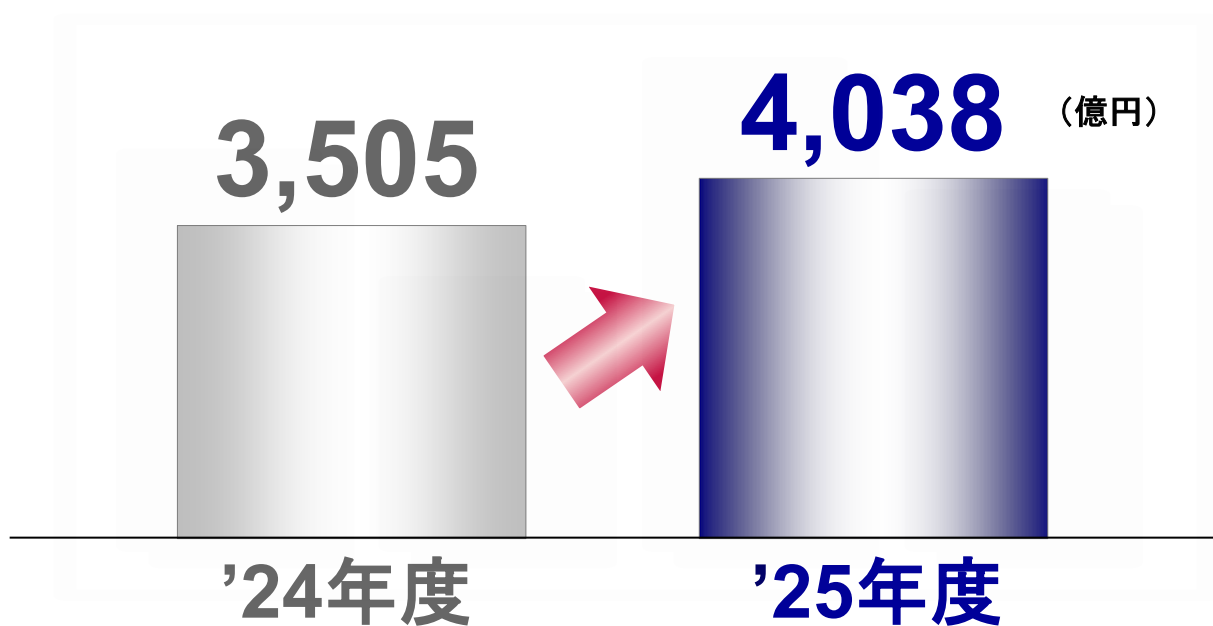
前連結会計年度に生産を開始した「新型パトロール」及び「新型アルマーダ」の増加等により、前年同期と比べ、5.6%増加の154,668台



	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	79	94	18.7%
商用車	55	49	-12.0%
小型バス	12	12	-0.9%
合計	147	155	5.6%

売上高

台数増加の影響等により、15.2%増加の4,038億円

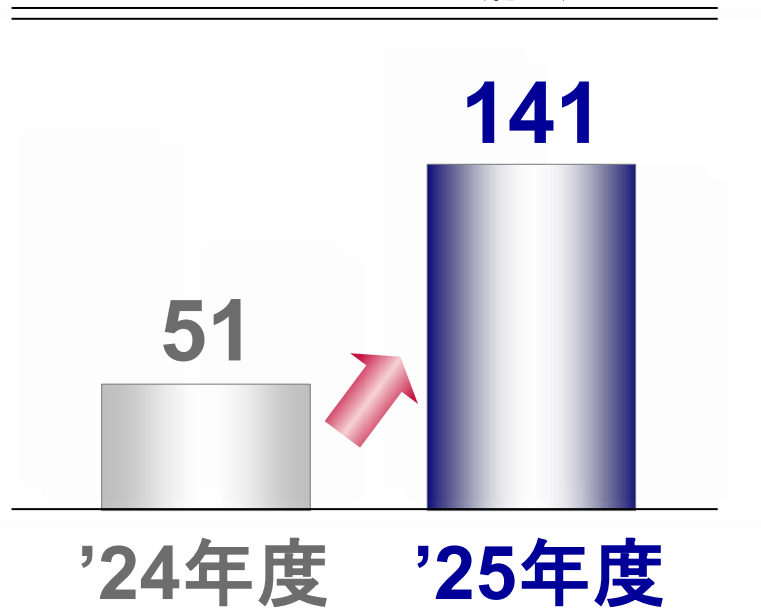


営業利益／経常利益

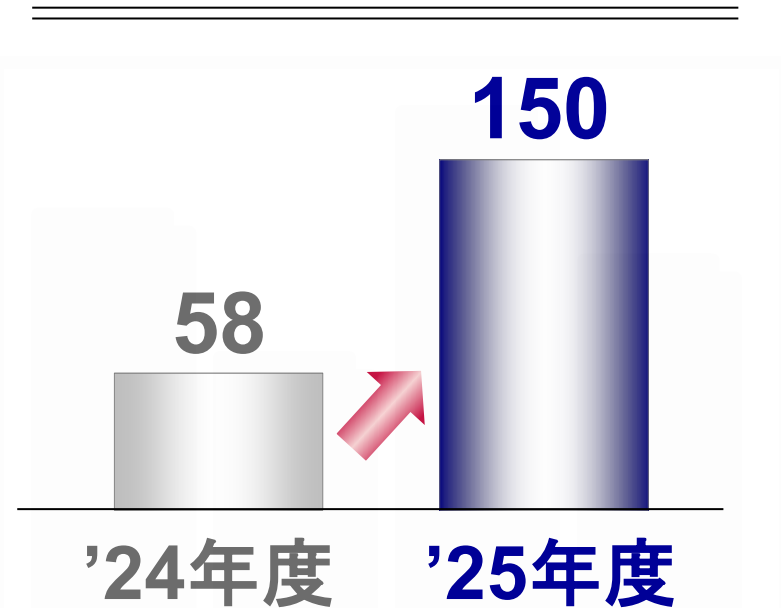
営業利益は台数増加の影響に加え、生産効率が向上したこと等により前連結会計年度と比べ175.1%増加の141億円

経常利益は前連結会計年度と比べ157.9%増加の150億円

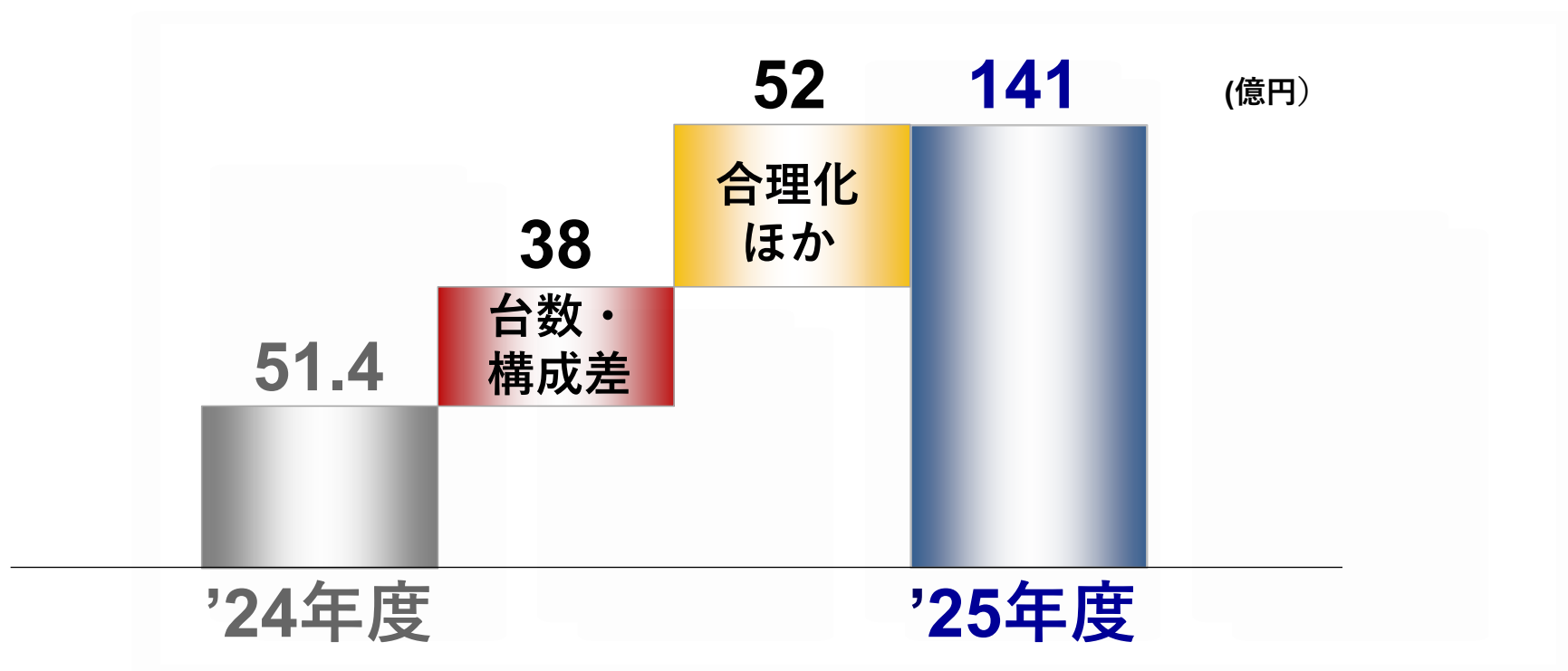
営業利益 (億円)



経常利益 (億円)

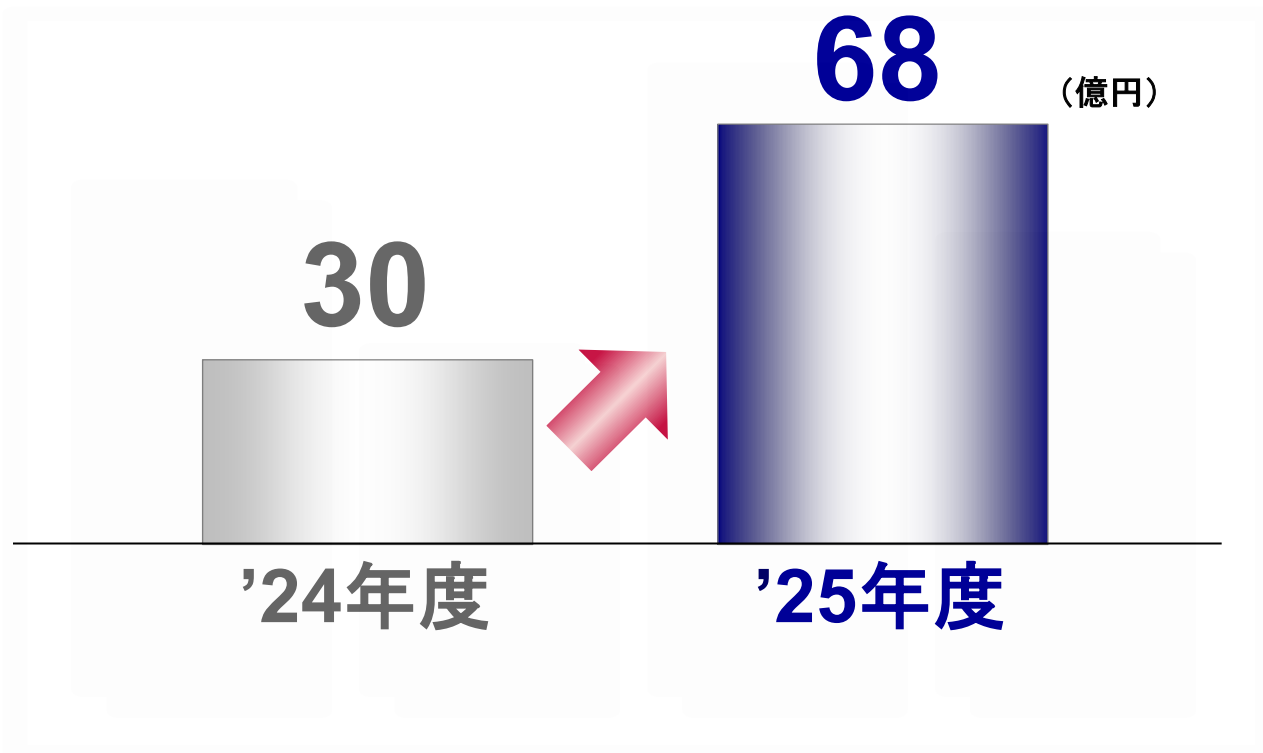


営業利益の増減要因



親会社株主に帰属する当期純利益

前連結会計年度と比べ127.3%増加の68億円



2026年度 連結業績見通し

2026年度の業績予想

<今後の見通し>

2027年3月期は、新型車の生産開始などにより2026年3月期よりも売上台数は増加する見通しであります。このような状況を踏まえ、2027年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高4,480億円、営業利益210億円、経常利益215億円、親会社株主に帰属する当期純利益は140億円を見込んでおります。

単位：百万円

	2025年度 (実績)	2026年度 (計画)	増減額	増減率
売上高	403,800	448,000	44,200	10.9%
営業損益	14,161	21,000	6,839	48.3%
経常損益	15,080	21,500	6,420	42.6%
親会社株主に帰属する 当期純損益	6,893	14,000	7,107	103.1%

株主還元

2026年度 1株当たり配当金

2026年3月期の期末配当は1株当たりの配当を前期比で2円50銭増配の1株当たり9円00銭

2027年3月期の配当予想は未定

